

テーマ：自然素材で造る「自然流健康の家」

—どこにこだわるか？どこまでできるか？—

東京支部 柳澤泰博

1980年代後半から日本はバブル景気にわきました。しかし1990年中ごろからシックハウスが社会問題になっていました。そうしたなか私たちは、それまでの家づくりに疑問を感じ、シックハウスにしない家づくりを造る側から提案しようと、新建材を使わない自然素材だけで「自然流健康の家」を造ってまいりました。

世の中は変わり、多くの自然系建築材料が出まわり、自然素材の家づくりと銘打つ住宅づくりが珍しくなくなりました。しかし私たちは基本仕様を変えずに「自然流健康の家」を造り続けています。

現在の住宅づくりで何にこだわり、何を大事にするのか。例えばF☆☆☆☆の建材は安全なのか？木であれば安心なのか？断熱材はどのように選べばよいのか？永く使える家に必要なことは？などなど、現在の自然素材で造る「自然流健康の家」を通して、現在の環境に則した家づくりにおいてどのようなことができるのか、提案の一つをお話ししたいと思います。